

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2021年1月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2022年1月号

特集

COVID-19 流行下の助産ケア

2020年以降、COVID-19が妊娠・出産にも大きなインパクトを与えました。そんな中でも、現場の助産師たちは、最大限のケアで女性と赤ちゃんを支えてきました。特集では感染拡大の状況における、現場からの報告を中心に掲載します。



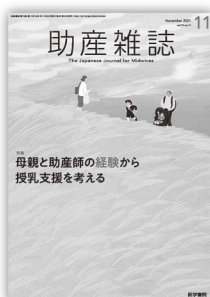
2021年12月号

特集

組織で育む助産実践能力

国立成育医療研究センターの助産師能力開発プログラム

国立成育医療研究センターが自施設の機能や特性、地域に果たす役割を踏まえて作成・運営している「助産師能力開発プログラム」。そのプログラム作成の経緯と全体像、各段階での研修の実際を紹介いたします。



2021年11月号

特集

母親と助産師の経験から授乳支援を考える

助産師が行う母乳育児支援は、母親たちにどのような経験をもたらすのでしょうか。授乳が女性、赤ちゃん、家族に肯定的な意味を持つために、助産師は何かできるのでしょうか。母親・父親の授乳の経験と、助産師の授乳支援の経験を通して考えます。



2021年10月号

特集

母子と家族・社会をつなぎ止める、オンラインの活用方法

感染予防をしながら、母親や家族のニーズに沿ったケアを提供するために、さまざまな現場でオンライン立ち会い出産や相談対応が取り組まれています。すでに導入されている現場から、実践のノウハウや事例、利用者の声を紹介していただきました。



2021年9月号

特集

全妊婦への情報提供が始まる今 NIPTについて助産師が知っておきたいこと

全ての妊婦に対して NIPT の情報提供が始まり、検査を取り扱う医療機関も増えることが予想されます。助産師はどう関わっていけばよいでしょうか？本特集では、今、女性が求めていること、助産師がそれに応えるために知っておきたいことについて解説します。



2021年8月号

特集

妊婦も助産師も、冷え対策しませんか

心身がちょうど良い状態、「中庸」を目指す食事・運動などの養生と鍼灸、冷えの漢方治療を、漢方の基本の考え方を踏まえて解説しました。さらに養生を大切にしている助産院から、助産外来でも実践できる保健指導の要点を紹介します。

2021年 特集

7月号 後期早産児を産んだお母さんへの適切な支援とは

6月号 ガイドラインの改訂内容を解説！ ポジティブな出産体験のための推奨項目 56

5月号 切迫早産のより良いケアを模索する

4月号 産後うつを防ぎたい！

3月号 コロナ禍で必要な若年女性への支援とは？

2月号 妊婦・母親との会話で役立つ質問と受け答えのコツ

1月号 産後の母子を支える想いを聴く